

がん患者・家族・県民のための公開講座

「乳がんになるということ」

～闘病中も自分らしく暮らすためのヒント～



乳がん体験者
美容ジャーナリスト

山崎 多賀子氏

H26年**12月13日**(土)

14:00～16:00

受付開始13:30～

入場無料 申込必要
定員200名程度
定員になり次第締切

県立図書館
メディア・アート・ホール
和歌山市西高松1丁目7-38
TEL 073-436-9500

私がそうであったように、多くの人は、いつまでも自分は健康でいると思っているものです。体力自慢の私が44歳で乳がんと告知されたとき、なぜ私が？と思いました。右乳房を摘出し、脱毛を伴う抗がん剤を受け入れるまでには大変な心の葛藤がありました。容姿が大きく変わってしまうことで社会から孤立することが怖くて悲しくて仕方がなかったのです。しかし、実際に治療中、ウィッグや帽子、メイクの力に助けられ、元気な外見を維持することで、自分らしさを失わずに治療をのりきることができた。元気に見える外見が心を支えてくれることを知りました。それは男性も同じです。病気をきっかけに『キレイ』は生きる力を与えてくれると学び、現在はがん患者さんのメイクセミナーもライフワークに加わりました。今回はがんになった経験と、誰もが使えるメイクの力についてお話しをしたいと思います。

【お申し込み・お問い合わせ】 **和歌山県立医科大学附属病院 地域連携室**

TEL 073-441-0778 FAX 073-441-0862

裏面の申込み用紙にてお申し込みください

駐車場が混雑しますので、公共交通機関をご利用ください

がん患者・家族・県民のための公開講座
FAX 073-441-0862

和歌山医大病院 地域連携室あて

定員になり次第締切

お名前	電話番号	関係機関の場合 ご所属・職名

会場案内

